

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

幼い頃から京都の大学に通いたいという思いがありました。高2の夏、オープンキャンパスに参加し、雰囲気や校舎などに、次学女子大のほうがいい感じがしたのと同志社女子大学を志望しました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

様々な事情により学校に通えず授業を教室で受けるという当たり前のことができていない状態だったので、まずは別室登校をせんとすることを目標としました。1人で授業範囲も勉強しないといけないから教材を買い、自分なりに要点をまとめました。理科科目がとことん苦手だったので高校の先生に怒られない程度の点数を取れるように勉強をしました。

[夏休み]

体育祭の準備が忙しかったのと、休みの間が短いので、その間に学習時間をとることができませんでした。

[2学期～入試直前]

11月の推薦試験の結果が不合格だったことを受け入りました。高校ではセンター対策が授業で行われており、それが自分にとって3年間の総復習となり、学力向上に役立ちました。自宅では過去問をひたすら解き、分からないところはスマホやパソコンを使って理解できるようにしました。受験科目ごとの教科書はまとめた手をつけずに、ただひたすら国語、英語、現代社会の3教科を勉強しました。移動時間も英語帳か古文単語帳を手にとり友達と問題を話し合いました。何をしたらいいかわからなかったときは、とりあえず教科書を読みました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

精神的なことが体に悪影響を及ぼすことがあったので、ストレスを溜めないことを一番大切にしました。「1日1時間」などの目標や制限を設けることはせず、自分のしたい時にしたいことをできるようにしました。周りの学力の差に落ち込むこともありましたが、そんな時は自分の目標を再確認し、1からやり直そうにしました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

体調が回復してほしい。まずは健康な生活を送ってください。がんばってほしい。そして最後までやってみよう。思っていた結果ではないにしても、とにかく自分にとってプラスになると思うのだからと、やってみてください。応援しています。